



美作国分寺復元イメージ

**牧野** 将来の津山を展望する場合、全体像を考えた上で、将来の都市機能がどうあるべきかをきちんと見極めなければ、100年先の津山の姿は描けないでしょう。  
また、現代は国際化・情報化の時代です。さまざまな形で、美作国建国1300年記念事業を含めた津山の情報を発信して、津山に人を呼ぶことが必要です。

ふるさと津山をどんな  
まちにして  
いきたいですか？



NARUTO(ナルト)列車イメージ

**竹内** 昨年開催した「美作国大茶華会」を今年も記念事業として開催する予定です。お茶とお華の会が力を合わせることは画期的で、茶道と華道の催しを共同で開催するのは、全国的にも珍しいのではないかと思っています。これを機にぜひ、継続的に開催していきたいと思っています。また「さくらサミット」を市と協

**市長** 醍醐を、市民に定着しつつある津山ローレルのようにPRし、弁当は、市で行うさまざまな行事で使うなどして、タイアップできればと思っています。  
中山神社や総社宮などへは、国指定の文化財だということ再認識して、自分たちの足で行ってみたいという働きかけをしていきたいですね。

**居原田** まちづくりは人づくりといいますが、先人の残した優れた業績や、豊かな自然環境や歴史、教育資産を生活の中に生かせるといえますね。子どもたちの笑顔が守られ、子どもたちの夢がかなえられるまちになることを願っています。  
そして、子どもたちには「ふるさと津山に誇りを持ち、勉強やスポー

**市長** 津山には歴史、文化という地域資源がありますから、あとは人と人とのつながりや人びとの意欲を活用していかなければならないと思います。

**光岡** 100年後の津山市民が、自分たちのまちは、こんなに素晴らしいまちなんだと、胸を張って言えるようなまちづくりをしていきたいです。  
子どもの頃から、津山城や祭りなどに参加して、津山には、こんなに素晴らしいものがあるのだということを知り、地域に誇りと愛着を持っていることが理想です。  
市民みんなが津山のことを考え、一人ひとりが、自分たちでまちを作るといふ気持ちを持つまちになれば最高ですね。

たくさんの方が訪れることで、津山のまちが生き生きとした活気のあるまちになることを願っています。そして、それが100年後の津山につながってほしいですね。  
また「近畿・中四国B・1グランプリ」は、まちおこしの観点からも大きな記念事業として位置付けられ

「NARUTO(ナルト)列車」とは、奈美町出身の岸本齊史さんの漫画「NARUTO(ナルト)」をラッピングした列車です。JR津山線、姫新線、因美線で運行される予定です



働で4月に開催します。「全国京都会議」は、今年、中四国ブロック会議の開催を進め、来年には全国大会の開催が決定しています。  
特に力を入れたのが「NARUTO(ナルト)列車」(写真)の運行です。旧津山扇形機関車庫とスロライフ列車が根強いファン層を持っているので、それらと人気漫画のナルトを絡めて、津山城跡など美作地域の観光の活性化にもつなげていきたいですね。



1400年に向け  
若い人材の応援を

津山市観光協会 会長  
竹内 佑宜さん

るのではないかと思います。  
これは私の夢ですが、江戸期からある清元という日本舞踊の中に「津山の月」という演目があります。出雲阿国と名古屋山三郎の悲恋を描いた古典舞踊で、津山を全国に発信しているものほこれだけですので、今年どこかで出番を作りたいと思っています。

**居原田** 市教育委員会では「美作国分寺跡の建物平面表示」(イメージ図)という、当時の建物などの大きさを体験してもらおうイベントを開催します。併せて、歴史小冊子を使うことで、子どもたちの歴史学習の一環になり、見学をきっかけに先人が残したものがたくさんあることに気付く機会にもなると思います。

将来の津山を担う子どもたちには、歴史を理解するだけではなく、学べる豊かな自然環境や歴史、文化、産業などがたくさんある津山らしさに気付いてもらいたいですね。  
そして、子どもたちが大人になった時に、その子どもたちにつないでいくことが大切だと思っています。

ツ、文化活動に取り組んで、一步一步自分の夢に向かって歩んでいける人に育ってほしい」というメッセージも未来に残していきたいです。

**竹内** 津山市出身者の中には、文化人や芸術家の卵がたくさんいます。書道や音楽など、さまざまな分野で、これから伸びていきそうな若い人材を、市民表彰のような形で応援していくことが、100年後につながるのではないのでしょうか。

今のわたしたちは、過去から受け継いだ豊かな「つやまのまち」という財産の上に乗って営んでいます。これからの若い人材を生かせるかどうかは、次の世代で結果が出ることだと思います。そういう観点で、わたしたちが若い人材を



新たな歴史を築く転機に

津山市長  
宮地 昭範

今日、お話を聞き、皆さんが、それぞれの団体との橋渡しとなり、事業が軌道に乗っていることが再認識できて、心強く思っています。  
美作地域を見つめ直し、よりよい地域を築いていく転機となることを望んでいます。

応援することが、世代が世代を育てていくきっかけになると思います。  
**市長** 100年に一度のこの機会に、これから10市町村が連携して記念事業を成功させることが大切だと思っています。



座談会の様子

**市長** 例えは、津山の歴史遺産を巡る企画を、小中学校の遠足や授業に組み入れるなども良いですね。  
**竹内** 国分寺と美作国府を関連づけて、足を運んでもらえる、特に、子どもを対象としたイベントも考えていきたいです。

**市長** このほか、美作市出身のあさのあつこさんが書き下ろすミステリー小説の謎解きに読者が参加する「みまさかミステリーツアー」があります。小説をきっかけに、たくさんの方に美作国の10市町村を訪れてほしいです。  
また、勝北の陶芸の里では、1400年前の陶棺の複製を作成する「陶棺復元プロジェクト」も予定しています。これには地元の皆さんも意欲的に取り組んでいます。意識が高まり、地域が盛り上がることも大切ですね。